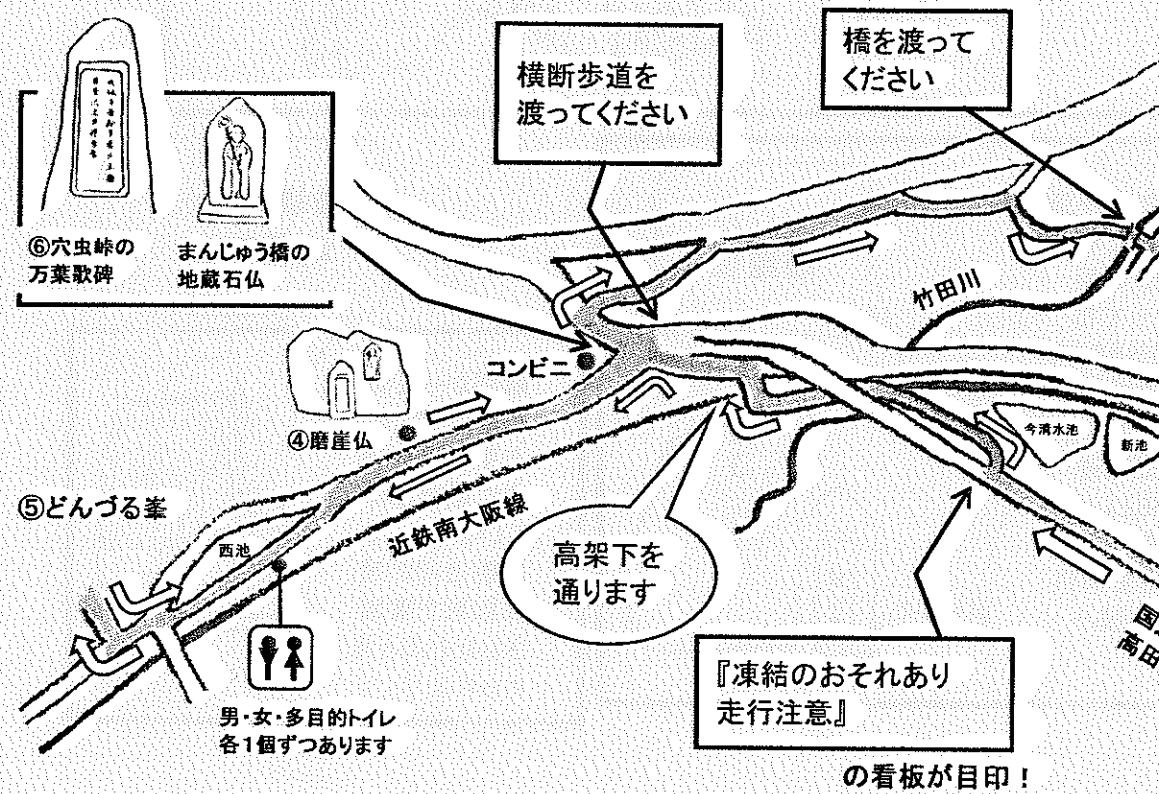


## 注意書き

- ・歩く前にしっかりと準備運動をしましょう。
- ・体の調子が悪い方は参加を控えてください。
- ・歩行中、体調に異常を感じられた場合は、速やかに歩行を中止してください。
- ・当日の事故については、応急処置のみ開催者側で行いますが、その後の責任は一切負いませんのでご了承ください。
- ・荷物預かり所は設置しておりませんので、貴重品は各自の責任で保管してください。
- ・歩行コースは一般道路及び生活道路ですので、コース付近住民の車両等の通行には十分気を付けて歩行してください。また、脇道に入らないでください。
- ・野池及び河川には近づかないでください。
- ・飲料水・軽食等については各自で持参してください。
- ・ゴミはお持ち帰りください。
- ・コース途中には給水所はありません。
- ・その他なにかお困りの方は近くの職員まで申し出てください。

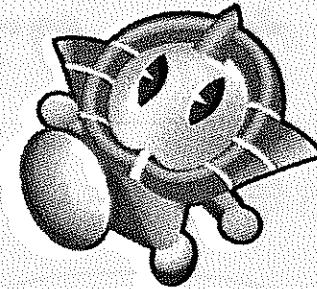


## ★コース(約8キロ)

- ① 一本松の阿弥陀仏
- ② 破壊された地蔵石仏
- ③ 春日神社
- ④ 磨崖仏
- ⑤ どんづる峯
- ⑥ 穴虫峠の万葉歌碑
- ⑦ 大坂山口神社



## ポイント紹介



いっぽんまつ  
一本松の  
あみだぶつ  
阿弥陀仏

室町時代末期に造立された来迎印の阿弥陀如来立像です。砂岩系の巨石を舟形に彫りこぼめられており、「六斎念仏之為」と陰刻されています。「寛政四年」銘があり、当時、戦乱の社会に苦しんでいた民衆が、自己の生前の記念碑として、自らの菩提を弔って造立したのでしょう。



おおさかやまぐちじんじゃ  
大坂山口神社  
(穴虫)



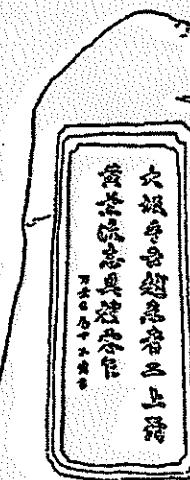
古くは「相撲神社」として近郷に知られ「馬場(東穴虫)のお宮さんの相撲」といい、秋の例祭は相当な賑わいであったそうです。

まんじゅう橋  
の地蔵石仏



この地蔵石仏は道標も兼ねており、右は田尻峠越で柏原市へ、左は穴虫峠越で太子町へ向かいます。後者は堺街道とも呼ばれ、分岐付近から太子道と同じ道行きです。

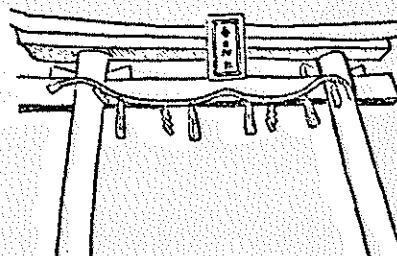
穴虫の  
万葉歌碑



「大坂を吾が越え来れば二上に黄葉流るしぐれ零りつつ」  
「大坂越えの峠道を私が越えてくると、折りから二上山には紅葉葉が風に吹かれて、まるで流れるよう散っていることである。時雨が降りしきるなかで」の意。  
と万葉歌が刻みこまれ、自然保全が永遠にとの願いがこめられています。また、歌碑の横には「歌碑建立の趣意」とある石碑があり、建立に至る経緯が詳しく述べられています。

加守の葛木倭文坐天羽雷命(かつらぎしとりにますあめのはいかづち)神社の境外摂社と考えられていて「内宮」と呼ばれているようです。

神武天皇遙拝所の碑とお百度石があります。



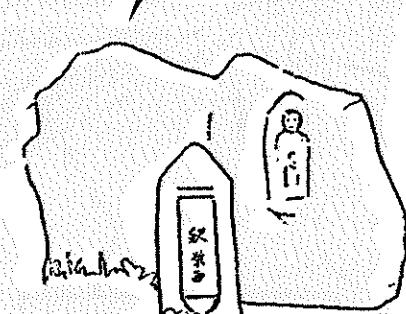
春日神社

今から千数百万年前に噴火した二上山の火碎流が水底に堆積し、のちの地殻変動や風水による浸食作用で現在の姿になりました。奈良県の天然記念物に指定されています。どんづる峯の名前の由来はたくさん鶴が屯(たむろ)しているように見えることから名づけられました。

ほう  
どんづる峯

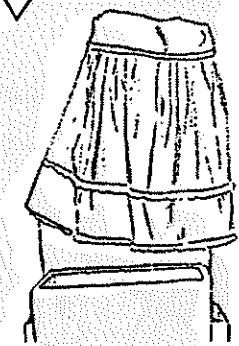


まがいぶつ  
磨崖仏



破壊された  
地蔵石仏

頭部から左脚部あたりまで、右手首先が完全に破壊されています。これは明治期の廢仏毀釈で破壊されたものと考えられます。



### ◆ 時刻表

近鉄下田駅

時	伊勢中川方面	上本町方面
12	4 21 43	4 26 44
13	4 21 43	4 26 44
14	4 21 43	4 26 44

JR香芝駅

時	王寺方面	高田方面
12	13 43	20 50
13	13 43	20 50
14	13 43	20 50